

斜里町・羅臼町・標津町におけるヒグマの出没状況及び人為的死亡数（速報）

1. ヒグマの出没状況

○斜里町及び羅臼町において、ヒグマの目撃数アンケートを実施した。

○標津町においては目撃数アンケートを実施していない。以下には対応件数を示す。

斜里町

- ・2018年3月1日以降の目撃件数は、9月末時点で1425件。すでに2017年度の1388件を上回る。
- ・月別目撃数について、例年の傾向は7～8月をピークに徐々に減少していくパターンであるが、今年は8月以降目撃数が顕著に減少した。

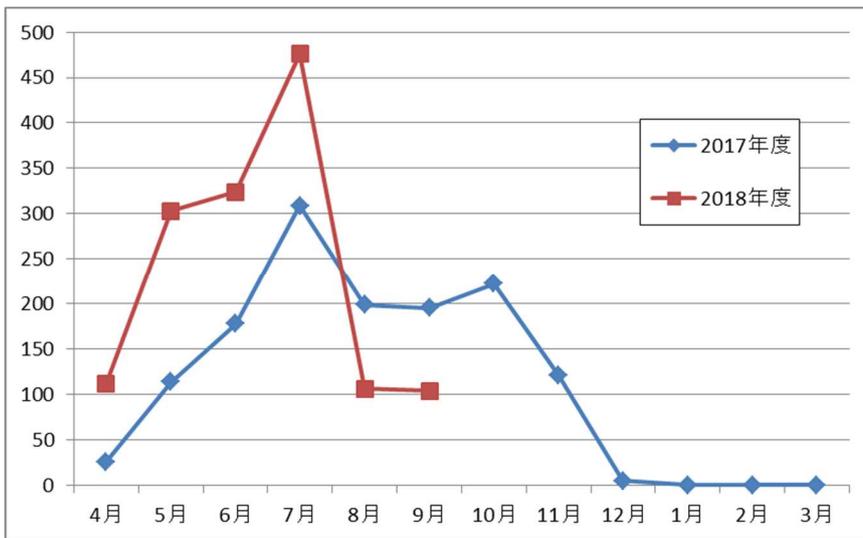


図 1. 斜里町におけるヒグマ目撃件数の月別変化

羅臼町

- ・2018年4月1日以降の目撃件数は、10月末時点で277件。2017年度の203件を上回る。
- ・月別目撃数について昨年と異なったのは、5月の件数が多かったことである。

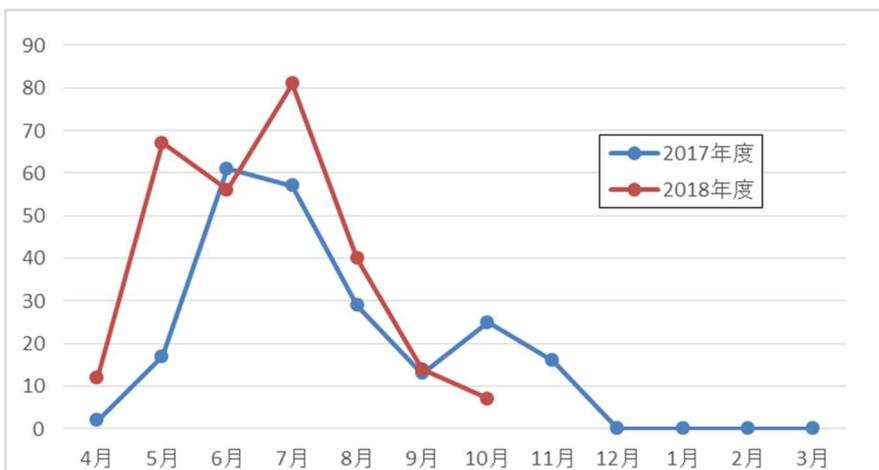


図 2. 羅臼町におけるヒグマ目撃件数の月別変化

標津町

- ・2018年のヒグマ対応件数は、10月末時点で59件。過去最多であった2017（平成29）年度の112件から減少。

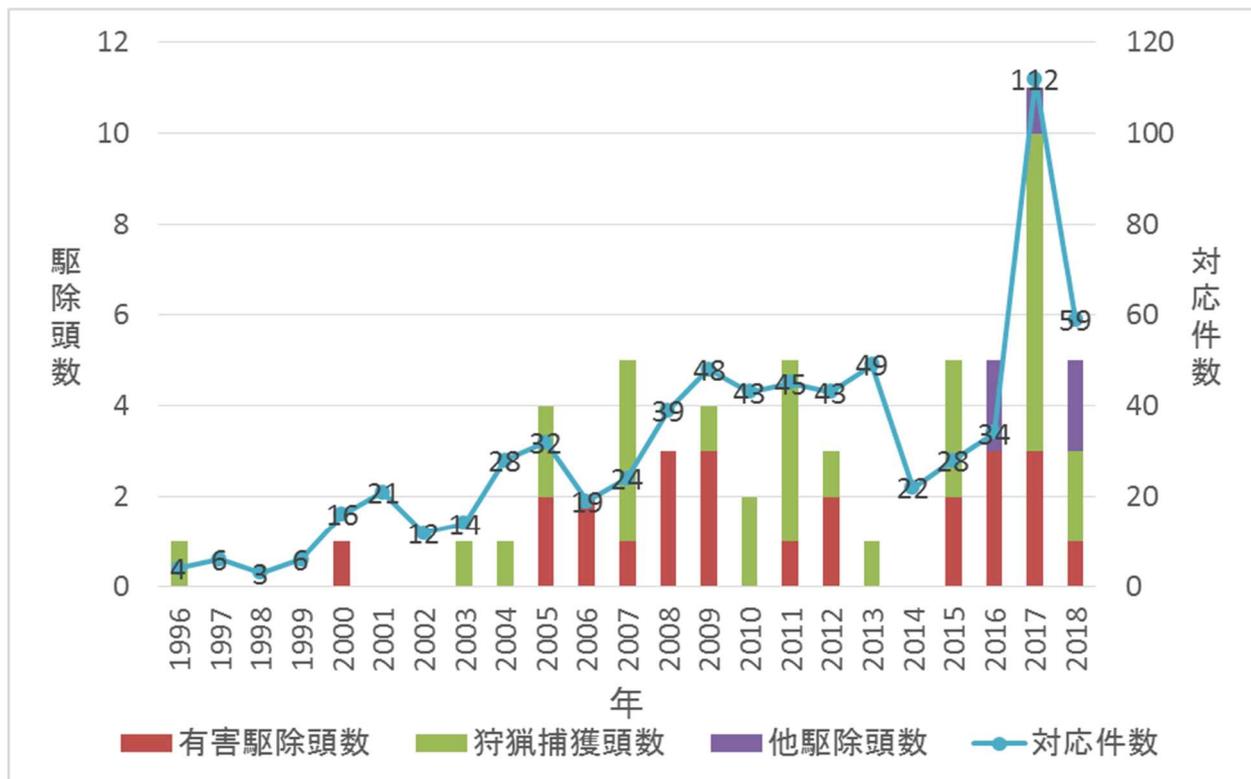


図3. 標津町におけるヒグマ対応件数の推移

*2018年10月末時点の数字

<人為的死亡個体の年齢・性の内訳>

・2018年の3町におけるヒグマの人為的死亡個体の内訳は、メスが10頭、オスが14頭。

表1. 2018年の3町におけるヒグマ人為的死亡個体の内訳（年齢別・性別）

年齢／性別	メス	オス	小計
0歳	3	1	4
1歳	0	2	2
2歳	0	3	3
3歳以上	7	8	15
小計	10	14	24

表2. 2018年のヒグマ人為的死亡個体の内訳（年齢別・場所別・性別）

年齢／ 場所・性別	斜里町		羅臼町		標津町		小計
	メス	オス	メス	オス	メス	オス	
0歳	0	0	3	1	0	0	4
1歳	0	1	0	1	0	0	2
2歳	0	1	0	2	0	0	3
3歳以上	4	2	2	2	1	4	15
小計	4	4	5	6	1	4	24

※斜里町は9月末、羅臼町と標津町は10月末時点

<捕獲要因>

- ・斜里町におけるヒグマの捕獲要因は、農作物加害が主である。9月末時点の集計のため狩猟による捕獲はなし。その他は、海上で漁網に絡まって身動きが取れなくなっていたため捕殺した個体。
- ・羅臼町におけるヒグマの捕獲要因は、住宅地への侵入又は接近が6頭と過半数を占めた。行動段階2と判断された個体は、水産加工残渣や釣り人の魚を食べた、あるいは漁業施設を破壊した個体であった。
- ・標津町における狩猟による捕獲2頭は、農地（デントコーン）における捕獲である。

表 3. 3 町におけるヒグマの捕獲要因の内訳（2018 年）

斜里町		羅臼町	
農作物加害（段階 2）	7	住宅地への侵入又は接近（段階 1）	6
その他	1	行動履歴から（段階 2）	4
狩猟	0	狩猟	1
計	8	計	11
標津町			
狩猟	2		
人材育成	2		
住宅地（酪農家）へ接近（段階 1）	1		
計	5		